

<介護と仕事の両立推進事業>

企業名	株式会社シナジーシステム
所在地	東京都豊島区東池袋 1-47-3 17 山京ビル 504
業種	G 情報通信業
常用労働者数	17 名
事業内容	インフラソリューション事業部、開発事業部を柱とした IT サービスの提供
ホームページ	http://www.synergy-system.co.jp

1 ニーズ調査

①実施日及び実施方法
10 月 1 日 調査票を全従業員へ配布
②対象者数、回収数、回収率
対象者：17 名、回収数：17 名 回収率：17/17=100%
③調査結果概要（調査により明らかになった課題）
<ul style="list-style-type: none"> ・現在の従業員の介護状況、介護対象者の有無について 現状介護中の従業員は 1 名であり割合でいうと 6%である。 ・今後の従業員の介護見込みについて 5 年以内の介護可能性従業員は 23%であり、介護対象者はその他親族 ・就業規則、規程内の介護関係制度に関する認知状況について 内容ともに制度を認知している 40% 制度があることは知っているが内容は知らない、制度あるかどうか知らない 60% ・介護と仕事の両立に関する不安について 介護をしながら両立できる従業員とできない従業員が半数の 50% 職場で相談できる雰囲気は 6% ・介護が続いた場合の望ましい働き方及び社内制度について 社内の介護制度を利用しつつ仕事と介護を両立したい従業員が過半数の 53% 介護必要期間は休業制度を利用して自分が介護その後仕事に復帰したい従業員が 6 % <p><まとめ> 介護中の従業員 6%、5 年以内の介護可能性は 23%であった。若い社員が多いために介護についての現実性が低く、介護休業制度の認知度はあるものの実際の内容について理解していない従業員がいることが判明した。 また、介護と仕事の両立については不安に感じていることや職場で相談できる環境ではないなど職場環境の改善が必要であることがあきかになった。 介護保険被保険者の認知度も非常に低いことが判明した。 少子高齢化が進む日本においては若い従業員が多い当社であっても「明日は我が身」「突然おこりうる」ということを従業員それぞれが理解し、介護にまつわる社内制度とその活用方法、公的支援、仕事との両立について理解を深めてもらうことが課題である。</p>

2 プロジェクトチームの設置及び運営状況

①設置日・メンバー
(設置日) 平成 30 年 9 月 10 日
②運営の状況（開催日、検討内容及び参加者数）
(メンバー) 総計 4 名
<ul style="list-style-type: none"> ・都内勤務者 社長、取締役事業部長、開発部長、管理部社員 (計 4 名) ・都外勤務者 (計 名)

3 策定した取組計画（内容及び取組時期）

平成 30 年 11 月～	介護と仕事の両立についての研修実施（年 1 回）
平成 30 年 12 月～	従業員のライフステージ確認のため管理部個人面談の実施（半年 1 回）
平成 31 年 1 月～	「明日は我が身、介護は突然やってくる」ワークショップ開催